

B 2009年 7月5日

なまえ

きょうかいたんじょう

## 教会誕生

しと  
使徒2・37～47

1. きょうのみことばを<sup>か</sup>書いておぼえましょう。

しと  
使徒2・42

2. はじめの<sup>きょうかい</sup>教会は、いつ、どこで、はじまりましたか。

いつ・・・( )

・①<sup>やく</sup>約<sup>ねんまえ</sup>200年前    ・②<sup>やく</sup>約<sup>ねんまえ</sup>2000年前

どこで・・・( )

・①エルサレム    ・②アメリカ    ・③<sup>にっぽん</sup>日本

3. <sup>せいれい</sup>聖霊によってペテロが<sup>かた</sup>語ったことは何でしょう。( )に○×を書きま  
しょう。

- ① <sup>かみさま</sup>神様に「ごめんなさい」を<sup>い</sup>言おう。( )  
② イエス様を<sup>さま</sup>信じよう。( )  
③ みんなであそぼう。( )  
④ <sup>せんれい</sup>バプテスマ(洗礼)を<sup>う</sup>受けよう。( )  
⑤ <sup>き</sup>びょうきに<sup>き</sup>気をつけよう。( )



4. はじめの<sup>きょうかい</sup>教会はどんな<sup>きょうかい</sup>教会だったでしょう。<sup>ばんごう</sup>番号に○をつけましょう。

- ① みんななかよしの<sup>きょうかい</sup>教会。    ④ たすけあう<sup>きょうかい</sup>教会。  
② よく<sup>いの</sup>お祈りする<sup>きょうかい</sup>教会。    ⑤ <sup>かみさま</sup>神様の<sup>おし</sup>教えをよく<sup>き</sup>聞く<sup>きょうかい</sup>教会。  
③ けんかやあらそいのある<sup>きょうかい</sup>教会。    ⑥ <sup>こころ</sup>心の<sup>きょうかい</sup>つめたい教会。

### <sup>いの</sup>お祈り

<sup>てん</sup>天のお父様、はじめの<sup>きょうかい</sup>教会の人たちが、みんな<sup>なかよ</sup>で仲良く、<sup>かみさま</sup>神様の<sup>き</sup>みことば  
をよく<sup>き</sup>聞いて、<sup>いの</sup>おいのりをしていたように、わたしもそのようにさせてくだ  
さい。イエス様の<sup>なまえ</sup>お名前によって<sup>いの</sup>おいのりします。アーメン。

B 2009年 7月 12日 なまえ

うつく もん  
**美しの門**

しと  
使徒3・1～10

1. きょうのみことばを書いておぼえましょう。

しと  
使徒3・6

2. 「わたしにあるものをあげよう」、とペテロとヨハネは言いました。  
二人は何をもっていたのですか。正しい番号を書きましょう。

① お金。

② イエス様。

③ 力。

[こたえ： ]



3. ペテロとヨハネによって男の人はどうなったでしょう。

に下からえらんで番号を入れましょう。

おどりがあって  ち、歩き出した。そして、歩き回ったりおどっ

たりして  をさんびしながら、彼らと共に  にはいっ

ていった(8節)。 (①た ②みや [けいだい] ③かみ)

4. あなたは、だれにイエス様を伝えたいですか。名前を書いて祈りましょ  
う。  
( ) ( )

いの  
**お祈り**

天のお父様、ペテロとヨハネを用いて男の人をいやし、救ってくださった  
ように、小さなわたしも、イエス様のお役に立たせてください。イエス様の  
お名前によっておいのりします。アーメン。

B 2009 年 7 月 19 日

なまえ

## すく 救いうる な 名

しと 使徒4・1～14

1. きょうのみことばを書いておぼえましょう。

しと 使徒4・12

2. ペテロとヨハネは「イエス様は救い主です」とかたりましたが、そのあとどうになりましたか。正しい番号を書いてね。

① 王さまのきゅうでんにむかえられた。

② つかまえられ、とりしらべを受けた。

[こたえ：

]



3. つかまえられたペテロとヨハネはどうなったでしょう。

( ) に○×をつけましょう。

( ) もうイエス様のことはかたらない。

( ) つかまえられたから、あばれた。

( ) イエス様のほかに救いうる名はないとかたった。

4. ①あなたはイエス様をお友だちに伝えたことがありますか。

・ある

・ない

- ②イエス様を伝えて何かを言われたり、いじわるされたことがありますか。

・ある

・ない

## いの お祈り

天のお父様、弱い小さなわたしですが、ペテロやヨハネのように、イエス様の名による力をいただいて、イエス様を多くの人にかたれるようにしてください。イエス様のお名前によっておいのりします。アーメン。

# イエスの名によって

使徒4・15~22

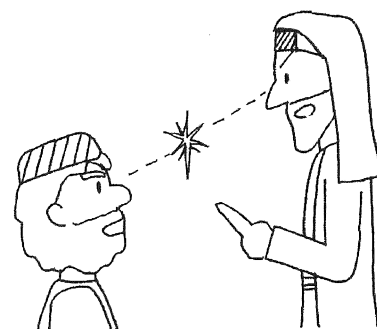
1. きょうのみことばを書いておぼえましょう。

使徒4・20

2. ペテロとヨハネがイエス様の名によってかたったら、どうなったでしょう。

正しいものに○をつけてね。

- ① 祭司たちにつかまえられた。( )  
② みんなから喜ばれた。( )  
③ 祭司たちにおどされた。( )

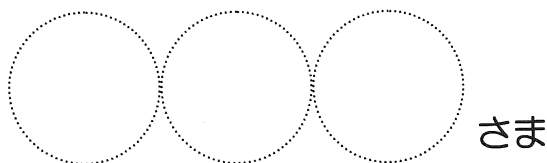


3. つかまえられ、おどされたペテロとヨハネは、

- ① 恐れた、② 恐れなかった。どちらかな？ 番号でこたえましょう。

[こたえ： ]

4. ペテロとヨハネが恐れずかたれた、すばらしい力ある名前は、だれの名前でしよう。○の中に書きましょう。



さま

## お祈り

天のお父様、ペテロとヨハネが人を恐れなくて、イエス様の名をかたったように、わたしも恐れなくて、人々にイエス様の名をかたれるようにしてください。イエス様のお名前によっておのりします。アーメン。

せいれい み  
聖霊に満たされて

しと  
使徒4・23~31

1. きょうのみことばを書いておぼえましょう。

しと  
使徒3・6

2. ①イエス様<sup>さま</sup>のことをお話し<sup>はなし</sup>して、つかまえられたのは、だれとだれですか。□の中に、ことばを入れましょう。

ペテロ と □ ハネ

- ②ゆるされて教会<sup>きょうかい</sup>に行ったら、みんなは何<sup>なに</sup>をしていたでしょう。

お □ のりをしていた。

3. ペテロとヨハネの願<sup>ねが</sup>ったことは何<sup>なん</sup>でしょう。○の中に、ことばをいれましょう。

①み ○ とばをかたること。

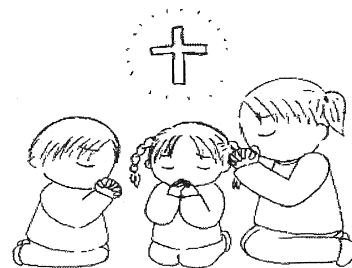
② ○ エ ○ のなによって、しるしときせきをおこなうこと。

4. わたしたちが、みことばをかたするためには、何<sup>なに</sup>が大切<sup>たいせつ</sup>でしょう。大切<sup>たいせつ</sup>なものに○をつけましょう。

① スポーツにはげむ。 ④ おいのりをする。

② ベんきょうにはげむ。 ⑤ せいしよをよむ。

③ いつもイエス様<sup>さま</sup>といっしょにいる。



いの  
お祈り

てん とうさま おぞ  
天のお父様、恐れずみことばを語<sup>かた</sup>った弟子<sup>でし</sup>たちのように、わたしもひと おぞ  
ないで、神様<sup>かみさま</sup>のみことばを語<sup>かた</sup>れるようにしてください。イエス様<sup>さま</sup>のお名前<sup>なまえ</sup>に  
よっておいのりします。アーメン。

いのちの言葉

しと  
使徒5・12~21

1. きょうのみことばを<sup>か</sup>書いておぼえましょう。

しと  
使徒5・20

2. つぎの（ ）にただ ばんごう か正しい番号を書きましょう。

(1)「さあ、<sup>い</sup>行きなさい」と言って、ろうやから<sup>い</sup>連れ<sup>つ</sup>出<sup>だ</sup>してくれたのは。

① 神<sup>かみ</sup>のみつかい      ② せんせい      (      )

(2) たくさんのしるしときせきは、だれによって行おこなわれましたか (12 節)。

② しとたち      ②さいし      (                      )

3. <sup>ただ</sup>正しいものに○を、<sup>ただ</sup>正しくないものに×をつけましょう。

( ) イエス様を信じる者が、ますます多くなってきた。

( ) イエス様を信じる者が、少なくなってしまった。

( ) 病人たちがひとり残らず、いやされた。

( ) <sup>びょうにん</sup>病人たちは、なおらなかった。

( ) <sup>しと</sup>使徒たちは、つかまえられた。

( ) 主<sup>しゅ</sup>のつかい<sup>たす</sup>が助けてくれた。



4. ①あなたは、お友だちや家族の人に神様のことは

を語<sup>かた</sup>ったことがありますか。 ・ある。 ・ない。

②あると〇をつけた人は、どんなことばを語ったかな。

( )

いの  
お祈り

天のお父様、使徒たちがいのちのことばを、人々に語ったように、わたしも、家族やお友だちに語れるようにしてください。イエス様のお名前によっておいのりします。アーメン。

B

2009年 8月 16日

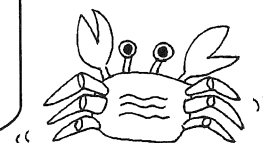
なまえ

ち ひとひと  
散らされた人々へ

I ペテロ 1・1～12

1. み言葉を書いておぼえましょう。

I ペテロ 1・5



2. イエス様を信じた人は、その後どうなるでしょう（3～5節）。

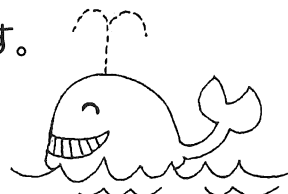
- ① 失敗したら終わり。  
 ② 永遠の命を得る希望が与えられる。  
 ③ なにも悪いことをしない人に変身する。 [こたえ： ]

3. 困ったとき、イエス様はわたしたちにどうされますか（6～7節）。

- ① イエス様を信じる思いが強くなって、喜びに変えられる。  
 ② 自分の力でがんばってのりこえれば、ほめてくださる。  
 ③ あなたが悪いとしかられる。 [こたえ： ]

4. 今はだれもイエス様を目で見ることはできません。しかし見えなくても、イエス様の愛を受けて喜ぶことができます。信じますか（8～9節）。

- ☐ 信じていますし、イエス様の愛をたしかに受けています。  
☐ 信じます。そして、イエス様の愛を受けたいです。  
☐ わかりません。でも、イエス様の愛を知りたいです。  
☐ イエス様の愛がわからないので、信じられません。



いの  
お祈り

天のお父様、イエス様がいつも守ってくださっていることをありがとうございます。  
 ございます。どんなことがあっても、イエス様の愛を受けて喜ぶことができる  
 ように、これからも助けてください。アーメン。

B

2009年 8月 23日

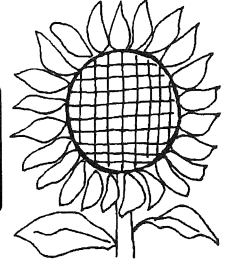
なまえ

ばんぶつ おわ  
**万物の終り**

I ペテロ 4・1～11

1. <sup>ことば</sup> <sup>か</sup> み言葉を書いておぼえましょう。

I ペテロ 4・7



2. <sup>せいしょ</sup> <sup>ちきゅう</sup> <sup>せかい</sup> <sup>か</sup> 聖書には、地球やこの世界はどうなると書かれていますか（7節）。

① <sup>か</sup> <sup>そんざい</sup> いつまでも変わらずに存在する。

② <sup>ちきゅう</sup> <sup>うちゅう</sup> <sup>せかい</sup> <sup>お</sup> 地球や宇宙、世界すべてに終わりがくる。

③ <sup>ちきゅう</sup> <sup>ちが</sup> <sup>ほし</sup> <sup>うつ</sup> <sup>す</sup> 地球はなくなるけど、違う星に移り住む。

〔こたえ： 〕

3. <sup>せかい</sup> <sup>お</sup> <sup>ちか</sup> この世界の終わりが近づいています。みんな、どうしますか（7～9節）。

① <sup>す</sup> <sup>す</sup> 好きかってなことをして過ごす。

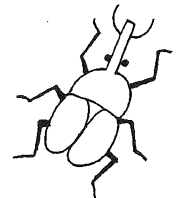
② <sup>かみさま</sup> <sup>もんく</sup> <sup>い</sup> 神様に文句を言う。

③ <sup>きょうかい</sup> <sup>あい</sup> <sup>いの</sup> みんなが教会にくるように、愛をもって祈る。

〔こたえ： 〕

4. <sup>きょうかい</sup> <sup>ねが</sup> <sup>かぞく</sup> <sup>とも</sup> <sup>なまえ</sup> <sup>した</sup> <sup>か</sup> あなたが、教会にきてほしいと願う家族やお友だちの名前を下に書いて、  
<sup>せんせい</sup> <sup>いの</sup> 先生といっしょにお祈りしましょう。

[ ]



<sup>いの</sup>  
**お祈り**

<sup>てん</sup> <sup>どうさま</sup> <sup>せかい</sup> <sup>お</sup> <sup>ちか</sup> 天のお父様、この世界の終わりがくると、その日が近づいていることを知りました。どうか終わりがくるまえに、わたしの<sup>か</sup> <sup>ぞく</sup> <sup>とも</sup> 家族と友だちが<sup>きょうかい</sup> 教会にきて、イエス様を<sup>さま</sup> <sup>しん</sup> 信じることができるようにしてください。アーメン。

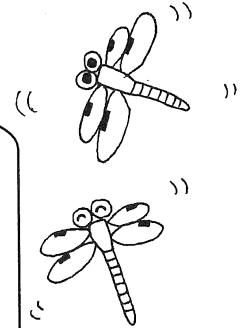


えいこう かんむり  
**栄光の冠**

I ペテロ 5・1～11

1. 1. きょう ことば か  
 今日のみ言葉を書きましょう。

I ペテロ 5・7



2. 「いっさい神にゆだねる」とはどういうことでしょうか。まちがっている  
 こたえを1つ選んでください(7節)。

- ① わたしにできないことも、神様は必ずできると信じる。  
 ② 神様はわたしを愛して、必ず助けてくださると信じる。  
 ③ 神様はなんでもしてくださるから、わたしはなにもしなくていい。

[こたえ： ]

3. 悪魔に負けないためには、どうしたらいいでしょうか(7～9節)。

- ① わたしには悪魔に勝つ力がないから、神様を信じて離れないようする。  
 ② 聖書から神様の力をもらって、悪魔と戦う。  
 ③ 悪魔なんかいないと信じる。

[こたえ： ]

4. あなたは教会に毎週出席できていますか。教会に出席できなくなる  
 理由があれば下を書いて、いつも教会に出席できるように先生と祈り  
 ましょう。また、よく休むお友だちのために祈りましょう。

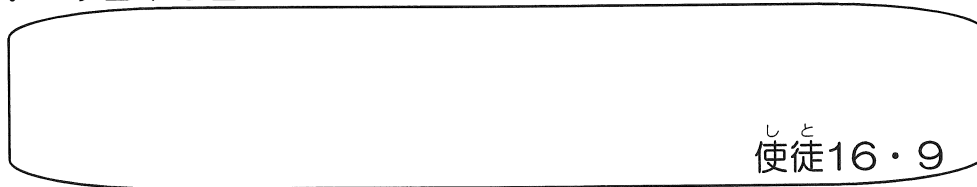
いの  
**お祈り**

天のお父様、わたしには悪魔に勝つ力はありません。いつも神様から離れ  
 ないように、教会に毎週出席できるようにしてください。それからお家でも  
 お祈りができるようにしてください。アーメン。

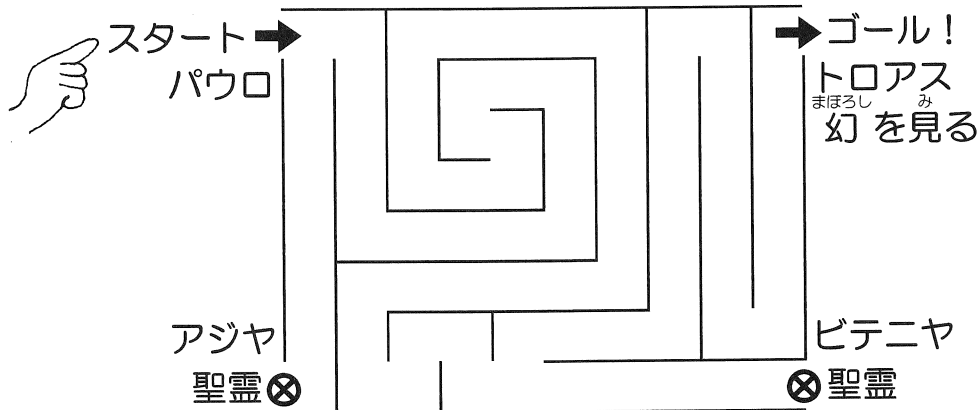
## マケドニアの叫び

使徒16・1～10

1. み言葉を書いておぼえよう。



2. パウロたちが、いろんなところでイエス様のことを伝えようとしたら、どうなりましたか？迷路をたどってみよう（6～9節）。



3. 「マケドニアにきて助けて」と幻を見たパウロはどうしましたか（9節）。

- ① ほかに行きたいところがあったので、マケドニアに行かなかった。
- ② マケドニアに行くのは大変なので、手紙を出した。
- ③ 神様のご計画と信じて従い、マケドニアに行った。 [こたえ: ]

4. あなたのまわりに、助けを必要としている人はいませんか。あなたにあてはまるものに○をしよう。

- ☐ 助けを必要としている友だちに、イエス様の愛を伝えたい。
- ☐ わたしのまわりには、助けを必要としている人はいません。
- ☐ お祈りをして、助けを必要としている人に気づいてあげたい。
- ☐ いそがしいので、ほかの人を助けることはできません。

## お祈り

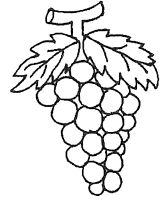
天のお父様、わたしのまわりに、イエス様を知らない人がたくさんいます。助けを必要としている人を教えてください。そしてイエス様の愛を、その人に伝えることができるように力を与えてください。アーメン。

# ピリピの<sup>いの</sup>祈<sup>ほ</sup>り場

使徒<sup>しと</sup>16・11～15

1. み言葉<sup>ことば</sup>を書いておぼえよう。

使徒<sup>しと</sup>16・14



2. パウロ<sup>い</sup>が行<sup>ま</sup>ったピリピの<sup>まち</sup>町<sup>ひと</sup>には、どんな人<sup>ひと</sup>がいましたか？パウロはそこでどんなことをしましたか？正しく線<sup>ただ</sup>で結<sup>せん</sup>びま<sup>むす</sup>しょう（13～15節）。

パウロ

かみさま<sup>しん</sup> ひと  
神様<sup>い</sup>を信<sup>しん</sup>じる人<sup>ひと</sup>が  
たくさんいた。

ちい<sup>まち</sup>  
小さな町<sup>まち</sup>だけど、  
れいはいどう<sup>れいはいどう</sup>  
礼拝堂<sup>れいはいどう</sup>はあ<sup>あ</sup>った。

じん<sup>すく</sup>  
ユダヤ人<sup>じん</sup>が少<sup>すく</sup>なく、  
れいはいどう<sup>れいはいどう</sup>  
礼拝堂<sup>れいはいどう</sup>がな<sup>な</sup>かった。

ひと<sup>すく</sup>  
人<sup>ひと</sup>が少<sup>すく</sup>ないの<sup>の</sup>にが<sup>が</sup>っか<sup>っか</sup>り  
してち<sup>まち</sup>が<sup>い</sup>う<sup>い</sup>町<sup>まち</sup>に行<sup>い</sup>った。

いの<sup>ぼ</sup> ひと<sup>あつ</sup>  
祈<sup>いの</sup>り場<sup>ぼ</sup>に行<sup>い</sup>き、集<sup>あつ</sup>ま<sup>あつ</sup>った  
ふ<sup>じん</sup> じん<sup>はなし</sup>  
婦<sup>ふ</sup>人<sup>じん</sup>た<sup>はなし</sup>ちに話<sup>はなし</sup>をし<sup>はなし</sup>た。

おお<sup>まち</sup>  
とても大<sup>おお</sup>きな町<sup>まち</sup>だ<sup>だ</sup>った  
ので、楽<sup>たの</sup>しく遊<sup>あそ</sup>んだ。

はなし  
話<sup>はなし</sup>がむ<sup>む</sup>ずか<sup>か</sup>しくて、  
み<sup>みな</sup>なわ<sup>わ</sup>からな<sup>な</sup>かった。

こころ<sup>ひら</sup>  
ルデヤ<sup>ルデヤ</sup>の心<sup>こころ</sup>が開<sup>ひら</sup>かれ、  
か<sup>そく</sup> 家族<sup>かぞく</sup>もイエス様<sup>イエス様</sup>を信<sup>しん</sup>じた。

だれもイエス様<sup>イエス様</sup>の  
ことを信<sup>しん</sup>じな<sup>な</sup>かった。

3. あなたは神様<sup>かみさま</sup>に心<sup>こころ</sup>を開<sup>ひら</sup>いていますか。神様<sup>かみさま</sup>にかくし<sup>かくし</sup>ごとをして、心<sup>こころ</sup>を閉<sup>と</sup>ざしていませんか。自<sup>じ</sup>分のきもちに近<sup>き</sup>いもの<sup>もの</sup>に○をし<sup>し</sup>よう。

- ☐ わる<sup>わる</sup>いことをして<sup>して</sup>いたこと<sup>こと</sup>に気<sup>き</sup>づいたら、すぐ神様<sup>かみさま</sup>に祈<sup>いの</sup>ります。
- ☐ わたしには神様<sup>かみさま</sup>にかくすよ<sup>よ</sup>うな悪<sup>わる</sup>いこと<sup>こと</sup>は、なにもありませ<sup>せ</sup>ん。
- ☐ 聖書<sup>せいしょ</sup>のお話<sup>はなし</sup>はむ<sup>む</sup>ずかしいので、心<sup>こころ</sup>を開<sup>ひら</sup>くことができ<sup>でき</sup>ません。

## いの<sup>いの</sup>祈<sup>ほ</sup>り

天<sup>てん</sup>のお父<sup>とう</sup>様<sup>さま</sup>、悪<sup>わる</sup>いことをして<sup>して</sup>も、そのま<sup>ま</sup>に<sup>に</sup>して、心<sup>こころ</sup>を閉<sup>と</sup>ざすことがあ<sup>あ</sup>り  
まし<sup>し</sup>た。ごめ<sup>め</sup>んなさい。わたしの罪<sup>つみ</sup>をゆるして<sup>して</sup>くださ<sup>さ</sup>い。そして同<sup>おな</sup>じよう<sup>よう</sup>に、  
心<sup>こころ</sup>を閉<sup>と</sup>ざして<sup>して</sup>いるほ<sup>ほ</sup>かの<sup>ひと</sup>人<sup>ひと</sup>の罪<sup>つみ</sup>をもゆるして<sup>して</sup>くださ<sup>さ</sup>い。アーメン。

まよなか きせき  
真夜中の奇跡

使徒<sup>しと</sup>16・11～15

1. <sup>こと</sup> <sup>ば</sup> <sup>か</sup> **み言葉**を書いておぼえよう。

しと  
使徒16・31

2. 下の文を、<sup>した</sup>今日のお話<sup>ぶん</sup>の順番通り<sup>きょう</sup>正しく<sup>はなし</sup>並べてください<sup>じゅんばんとお</sup>（16～34節）。<sup>ただ</sup><sup>なら</sup><sup>せつ</sup>

①パウロとシラスが  
獄に入れられた。

②獄吏が自殺しかけた。

③獄吏がパウロとシラス  
に救いを求めた。

だい じ しん  
④大地震がおこった。

⑤ 占いの霊につかれた  
女奴隷が救われた。

⑥獄吏と家族が救われた。

「こたえ:  $\Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow$

3. あなたは罪と永遠の滅びから救われるため、イエス様を信じますか。

- もうイエス様を信じています。
- イエス様を信じていませんが、信じたいです。
- イエス様を信じたいとは思いません。



4. あなたの家族の中にまだイエス様を信じていない人がいたら、下に名前を書いて、救われるように先生といっしょにお祈りしましょう。

いの  
お祈い

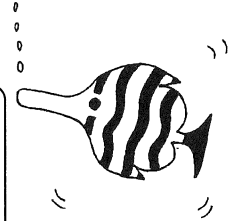
天のお父様、罪と永遠の滅びからの救いを与えてくださり、ありがとうございます。  
 ざいます。まだイエス様を信じていないわたしの家族も、イエス様を信じて救  
 われますように、お祈りにおこたえください。アーメン。

# コリント<sup>でんどう</sup>伝道

使徒<sup>しと</sup>18・1～11

1. み<sup>ことば</sup>言葉<sup>か</sup>を書いておぼえよう。

使徒<sup>しと</sup>18・9～10



2. パウロはコリントの町<sup>まち</sup>にやってきました。そこでパウロはどんな思い<sup>おも</sup>で  
いましたか。まちがっているこたえ<sup>えら</sup>を1つ選びましょう（1～10節<sup>せつ</sup>）。

- ① たくさんのなかま<sup>なかま</sup>と出会い<sup>であ</sup>、助け<sup>たす</sup>られた。  
② ユダヤ人<sup>じん</sup>からの反抗<sup>はんこう</sup>を受けて<sup>う</sup>、不安<sup>ふあん</sup>になり恐<sup>おそ</sup>れた。  
③ 多く<sup>おほく</sup>の人がイエス様<sup>ひと</sup>を信<sup>しん</sup>じたので、じまんした。 [こたえ： ]

3. あなたはつらく悲<sup>かな</sup>しい思い<sup>おも</sup>になって、教会<sup>きょうかい</sup>に行きたくないと思<sup>おも</sup>ったこと  
がありますか。あれば下<sup>した</sup>に書<sup>か</sup>いて、先生<sup>せんせい</sup>に祈<sup>いの</sup>ってもらいましょう。



4. あなたにも、イエス様<sup>さま</sup>がいつもついていてくださり、不安<sup>ふあん</sup>でつらいとき  
に助け<sup>たす</sup>てくださることを信<sup>しん</sup>じますか。

- ☐ イエス様<sup>さま</sup>を信<sup>しん</sup>じているので、不安<sup>ふあん</sup>はありません。  
☐ イエス様<sup>さま</sup>がつらいことから助け<sup>たす</sup>てくださるなら、信<sup>しん</sup>じたいです。  
☐ お友だち<sup>とも</sup>にイエス様<sup>さま</sup>を伝え<sup>つた</sup>えられるように、恐<sup>おそ</sup>れをなくしてほしい。  
☐ つらいことはないので、イエス様<sup>さま</sup>を信<sup>しん</sup>じなくてもだいじょうぶです。

## いのちのお祈り

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、弱<sup>よわ</sup>いわたしのために、イエス様<sup>さま</sup>がいつもいっしょにいてくだ  
さることをありがとうございます。教会<sup>きょうかい</sup>に行くことや、友だち<sup>とも</sup>にイエス様<sup>さま</sup>の  
ことを伝え<sup>つた</sup>えることを恐<sup>おそ</sup>れないように、これからも守<sup>まも</sup>ってください。アーメン。

## 2009年度 牧羊者 第Ⅱ巻

# ワークB解説 7~9月

7/5

- 問1 聖霊によって、祝福の中に生み出された、はじめの教会を思い、み言葉を書いて覚えましょう。
- 問2 はじめの教会が、歴史上の事実として誕生したことを語りましょう（正解：②、①）。
- 問3 悔い改めてイエス様を信じ、自分の口でイエスは主であると告白するなら救われ、バプテスマを受けて主の教会の一員とされることを知らせましょう（正解：①、②、④）。
- 問4 はじめの教会が、どのような教会であったかを知らせ、今の教会もそのような祝福の中に成長できるように祈りましょう（正解：①、②、④、⑤）。

7/12

- 問1 聖霊に満たされ、大胆に語った弟子を思い、み言葉を書いて覚えましょう。
- 問2 弟子たちは、金銀に勝るものを与えられていました。だから、力強い働きをすることができたのです（正解：②）。
- 問3 人のわざではなく、聖霊によって、いやしのみわざはなされました。そして、人々の目をイエス様に向けさせました。信仰のすばらしさを語りましょう（正解：①、③、②）。
- 問4 聖霊に満たされて、力強い主の証人になっていただきましょう。

7/19

- 問1 イエス様以外に、救われる名はないことを思い、み言葉を書いて覚えましょう。
- 問2 イエス様の十字架と復活を語っただけなのに、祭司たちによって捕らえられました。いつでも反対する者があることを伝えましょう（正解：②）。
- 問3 ペテロたちは恐れるどころか聖霊に満たされて、キリストの名を大胆に語ったことを伝えましょう（正解：×、×、○）。
- 問4 私たちも、イエス様を伝える時に、いじわるされたりすることがあります。子どもたちの中に、そんな経験をした子がいたら励ましましょう。

7/26

- 問1 主の証人として大胆に語るために、み言葉を書いて覚えましょう。
- 問2 祭司や役人は、イエス様の名が広まることを恐れたので、弟子をおどしたりしました。今も悪魔は、働きをとどめようとしてくることを知りましょう（正解：①、③）。
- 問3 おどされても恐れなかったペテロたちは、自分の見たことや聞いたことを、語らずにはおれなかったことを伝えましょう（正解：②）。
- 問4 ペテロたちは、イエス様の名とすばらしさを、自分で体験したからこそ恐れず語りました。イエス様の名のすばらしさを子どもたちに伝えましょう（正解：イエス）。

8/2

- 問1 大胆に、主の言葉を語った弟子のことを覚えつつ、み言葉を書いて覚えましょう。
- 問2 弟子たちは、祭司たちによって、捕らえられ牢屋に入れられました。教会は心を一つにして祈っていたことを伝えましょう（正解：①ヨ、②い）。
- 問3 弟子たちは、牢屋に入れられてもなお大胆に、神のみ言葉を語り伝えたいと思いました。祈りは聞かれることを信じましょう（正解：①こ、②イ、ス）。
- 問4 わたしたちも、み言葉を語るために日々祈り、聖霊によってイエス様と一緒に歩みをしていけるように導きましょう（正解：③、④、⑤）。

8/9

- 問1 いのちのみ言葉が語れるように、み言葉を書いて覚えましょう。
- 問2 聖霊によって、次々としるしと奇跡が行われました。用いられたのは使徒たちです。私も用いられることを信じましょう（正解：①、①）。
- 問3 用いられたのは弟子たちですが、その働きは、すべて聖霊によることを知らせましょう（正解：○、×、○、×、○、○）。
- 問4 子どもであっても、神様のみ言葉が語れることを伝えましょう。

8/16

- 問1 子どもたちは、ちゃんとみ言葉を覚えて書いていますか。後半部分の、「信仰により神の御力に守られているのである」だけでも覚えることができればいいですね。
- 問2 「信仰により神の御力に守られている」一つ目は、永遠の命が与えられる約束のゆえに、神様が守ってくださることを信じ望むことです（正解：②）。
- 問3 「信仰により神の御力に守られている」二つ目は、神様が試練を喜びに変えられることを信じる信仰が養われることです（正解：①）。
- 問4 「信仰により神の御力に守られている」三つ目は、イエス様の愛を信じ受け入れることで、喜びに満たされ励まされることです。

8/23

- 問1 短いみ言葉なので、しっかり覚えて書いてほしいです。
- 問2 世界の終わりは間違いなく来ることを、戦争や環境破壊の観点からではなく、聖書の言葉は間違いがないという観点から伝えると共に、新しい天と地が用意されるので、いたずらに怖がる必要はないことも伝えましょう（正解：②）。
- 問3 再臨信仰の大切なポイントはいかに備えるかということです。愛と祈りの生活によって備えるべきことを、子どもたちにこそ伝えましょう（正解：③）。
- 問4 名前を聞くだけでなく、その人の状況を聞き、どうしたら教会にきてもらえるかということも一緒に話し合うなら、新しい働きが起きるのではないのでしょうか。

8/30

- 問1 「かえりみて」「思いわずらい」「ゆだねる」など、低学年には難しい言葉が並んでいます。頑張って覚えてほしい、大切なみ言葉です。
- 問2 「ゆだねる」という言葉の説明が、礼拝メッセージでなされないかもしれません。低学年には難しい言葉なので、分級の設問に取り入れました（正解：③）。
- 問3 悪魔の存在を軽んじると誘惑に負けて信仰を失ってしまいます。いたずらに恐れさせる必要はありませんが、悪魔が存在する事実は教えましょう（正解：①、②）。
- 問4 神様から（教会から）離れることの恐ろしさを、できれば教師自身の経験から伝えて、教会に出席することの恵みを教えましょう。同時に、今の子どもたちは毎週教会に通い続けることが難しい状況下にあることを理解してあげて、共に祈りましょう。

9/6

- 問1 このみ言葉に示されて、神様の大切な働きに遣わされる者とされることがあります。祈り心をもって、子どもたちに書いてもらいましょう。
- 問2 子どもたちはすんなり正解ルートを行くと思いますが、後で教師が寄り道を示し、「聖霊に禁じられたんだよね」とお話を振り返ってください（正解は省略）。
- 問3 自分の思いよりも神様の愛を一番に優先して、この世に妥協しない心が子どもたちに養われるなら感謝です（正解：③）。
- 問4 「愛の反対は無関心」と言われますが、子どもたちは危険な目にあわないようにと、人との関わりをもつことを親から禁じられている場合があります。そのことを理解しつつ、できる範囲で隣人を愛する者となるように導きましょう。

9/13

- 問1 暗唱聖句の個所だけでなく、前後関係を含めて覚えることができればいいですね。
- 問2 お話を振り返りながら、ルデヤが聖書の話聞いて心が開かれたことの不思議を感じるができるように導きましょう（正解：パウロ―番右-真ん中-真ん中）。
- 問3 心を開いてくださるのは聖霊の働きですから、無理に子どもたちの心を開く必要はありませんが、神様に心を閉ざすことがあるとの気づきが与えられたら幸いです。

9/20

- 問1 よく知られている聖句です。覚えるだけでなく、確信できればいいですね。
- 問2 少し長いお話ですが、わかりやすいところです。ストーリーを最初からおさらいしましょう（正解：⑤⇒①⇒④⇒②⇒③⇒⑥）。
- 問3 家族の救いに入る前に、まず子どもたち自身の救いに対して問いかけましょう。
- 問4 もし、子どもたちがまだイエス様を信じていなくても、他の人の救いのために祈ることはできます。それに、他の人のために祈ることで、自分自身のことを示されて救いに導かれることもあります。

9/27

- 問1 使徒パウロでも恐れて黙ってしまいそうになることがあるのです。このことを覚えて、慰めと励ましとしたいものです。
- 問2 コリントはとても伝道が難しい場所で、有力なクリスチャンとの出会いや援護があり、異邦人が多く救われながらも、パウロは不安になり恐れたのです。（正解：③）
- 問3 伝道のことを聞く前に、子どもたちがどんな思いで教会に来ているか確認したほうがいいでしょう。自分の意志で喜んで教会に集う者でなければ、伝道は義務であり、恵みとならずに辛いものになってしまうからです。
- 問4 どんな思いで教会に来ているにしても、イエス様への親しみはもっているでしょう。ですから「不安でつらいときに、イエス様がそばにいて助けてくださるということを、お友だちも知ることができたらいいよね」と勧めてあげることはできるでしょう。